

## 第7回伊那新校再編実施計画懇話会

日時：令和3年9月21日（火）

18時～19時30分

Zoomを用いたオンライン会議

### <次第>

#### 1 開 会

#### 2 挨拶

#### 3 報告事項

- (1) 第6回伊那新校再編実施計画懇話会まとめ

#### 4 会議事項

- (1) 伊那新校の学校像（伊那新校プロジェクトチーム案）についての意見交換
- (2) 上伊那地域の中学校卒業生数の推移と募集学級数についての意見交換

#### 5 その他

##### <次回の予定>

##### ○第8回伊那新校再編実施計画懇話会

【日時】 10月26日（火） 18時～19時30分

【会場】 伊那合同庁舎 講堂（5階）

【内容】 意見交換（伊那新校の学びのイメージについて）

##### ○第6回校地検討会議

【日時】 10月26日（火） 16時30分～17時30分

【会場】 伊那合同庁舎 301会議室（3階）

#### 6 閉 会

## 第6回伊那新校再編実施計画懇話会まとめ

<b>日時</b>	令和3年(2021年)7月27日(火) 18時00分～19時30分		
<b>場所</b>	長野県伊那合同庁舎 講堂		
<b>出席</b>	懇話会構成員26名		
<b>欠席</b>	河野 宏	<b>傍聴者</b>	傍聴17名、報道4社
<b>事務局</b>	伊那北高校	山岡教頭(事務局長)、大石教諭、倉石教諭、斎藤教諭、山崎教諭	
	伊那弥生ヶ丘高校	藤澤教頭(副事務局長)、唐澤教諭、濱田教諭、春日教諭、原教諭	
	県教育委員会	上原主幹指導主事、田中主任指導主事、石井主事、浅井主事	
<b>当日資料</b>	第6回懇話会次第、第5回懇話会まとめ、伊那新校 第5回懇話会までの論点整理、伊那新校 再編実施計画に係る学校像について(たたき台)、県立高校の「特色ある学科」設置校一覧、松本県ヶ丘高校探究科について		

### 会議事項

1 報告	(1) 第5回懇話会まとめ		
2 会議	(1) 伊那新校の学校像(たたき台)についての意見交換	(2) 県立高校の「特色ある学科」について	
	(3) 松本県ヶ丘高校探究科の現状報告	(4) 校地検討会議報告	
3 連絡事項	次回予定(令和3年8月26日(火))		

### 意見交換(伊那新校の学校像(たたき台)、県立高校の「特色ある学科」、松本県ヶ丘高校探究科の現状報告、校地検討会議報告)

#### 【県立高校の「特色ある学科」について】

##### <事務局による説明>

○英語科、理数科のような特定の普通教科を重点的に学習する学科のことを、「特色のある学科(特色学科)」と長野県では呼んでいる。伊那北高校には、理数科が設置されている。

#### 【松本県ヶ丘高校探究科の現状報告】

##### <松本県ヶ丘高校 杉村学校長、近藤教諭による説明>

- 探究科設置から4年目。卒業生が出た。教員が変わった。来年度から、進学型単位制を導入し、教員定数の増員を予定。
- 自然探究科は理数科、国際探究科は国際教養学科と理解していただければ、両者が相乗効果によって、高め合っている。
- 1年次の「信州学」はグループでの学び。2年次からは、個人。3年次からは、外部向けに発信していく。仮説から、実際にやってみる、そして失敗して学ぶという活動を重視している。
- 海外フィールドワークを1年次に行うのが特徴的。
- 探究の成果を大学の先生方も非常に好意的に受け止めている。

##### <意見交換>

- 県ヶ丘高校の先進的な取り組みは、生徒が主体的に活動する、生徒を主人公にした学校になっていくという期待がある。
- 生き生きとした学校の様子が伝わってきた。県ヶ丘の実践や工夫をどう上伊那に生かしていくか、考えていきたい。
- 県ヶ丘では探究科が80名となっているが、上伊那地域で同規模は厳しいのではないかと。

##### <高校生からの意見・感想>

- 文系とか理系とかにとらわれずに学習できる学科があることに魅力的に感じた。
- 学習の幅が広い教育は大切だと思う。英語もしっかりやるが、理数科目がしっかりできるのは魅力的。
- 今、両校で取り組んでいる探究で身に付いたものがあるので、探究に特化したものが本当に必要なのかと思った。
- 個人的によいと思ったのは、海外のフィールドワーク。地域のことも大切だが、地域を超えて、海外に出るのがよい。

#### 【校地検討会議報告】

##### <校地検討部会からの資料説明(林部会長)>

- 「1 校地検討部会のまとめ」、「2 校地選定に係る視点と検討項目(項目に優劣はない)」、「3 校地選定にあたって留意してほしい事項」について説明。
- 県に、11項目と「3 校地選定にあたって留意してほしい事項」を踏まえ、伊那北か弥生のいずれがよいかを決定していただく。

##### <意見交換>

- 提案についてご了解いただき、県に一任したいということで、方向性を認めていただきたい。
- 校地を選定した根拠について、可能な範囲で、知る機会があるとありがたい。

### 今後の検討課題

- 設置学科についての意見交換。
- 募集学級数及び募集開始年度、統合の方法についての意見交換

## 伊那新校の学校像について（伊那新校プロジェクトチーム案）

### 生徒を主人公に据え、互いに切磋琢磨できる上伊那地域の普通科教育の拠点校

#### 目指す学校像

- 生徒の個性を尊重し、興味、関心を高め、生徒の希望する進路を実現できる学校
- 多様な価値観を共有し、他者との協働を通して、人間性を伸ばす学校
- 地域の学びを牽引する学びの拠点

#### 育てる生徒像

- 基礎学力の修得の上に立ち、探究心をもって予測困難な未来に向かって、社会の創造と発展に貢献できる力をもつ生徒
- 他者との協働により学習を深め、地域の抱える課題をはじめ様々な課題をグローバルな視点から考えられる広い視野と柔軟な発想ができる生徒

#### 設置学科

- 普通科
  - ・両校がやってきた探究や取組を活かす普通科
- 特色学科
  - ・探究を牽引する学科
  - ・文理融合の学科で、理系の学びを重視する学科と文系の学びを重視する学科を設置

#### カリキュラム

- 「探究」（卓越した探究）を核にした主体的、対話的な学び
- 教科横断型の授業の展開
- 主体的な科目選択などにより、自分の学びを自分でデザインする個別最適な学び
- 学校の枠にとらわれず、学外と協働した先駆的な学び

#### 地域連携・コンソーシアム

- 地域課題の解決や地域創生、イノベーションにつながるコンソーシアムの構築
- 地域を越えた多様な人との出会いを創出するコンソーシアムの構築

## 単位制について

単位制高等学校は、学年による教育課程の区分を設けず、決められた単位を修得すれば卒業が認められる。昭和63年度から定時制・通信制課程において導入され、平成5年度からは全日制課程においても設置が可能になった。

### 単位制の特色

- 自分の学習計画に基づき、自分の興味、関心等に応じた科目を選択し学習できる。
- 自分のペースで学習に取り組むことができる。
- 希望の進路に合わせた授業選択が可能。
- 少人数クラス、習熟度学習などでの授業展開が可能。
- 高い目的意識が必要。

従来の高校（学年制）	単位制高校
<ul style="list-style-type: none"> <li>○1つの学年で30～33単位程度、3年間で90～99単位程度を修得して卒業</li> <li>○基本的には、学年やコース内で同じ科目を履修し、卒業時の修得単位数も同じ。</li> <li>○学年ごと必要な単位数を修得したら、進級・卒業することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○卒業単位数については、学校ごとに下限を設け、それ以上の単位数を修得することで卒業となる。卒業時に修得した単位数は個々で異なる。</li> <li>○自分の興味、関心や進路に合わせて時間割を自分でデザインする。</li> <li>○授業がない時間（空き時間）には、探究を深めたり、自分の進路のための時間に充てたりすることができる。</li> </ul>

〔普通科の単位制高校の中には、大学進学に対応した科目を自ら選択し、早い時期から履修することで進学実績を高めている学校もある。（Benesse 進研ゼミ中学講座より）〕

### “個別最適な学び”を実現する単位制高校

個別最適な学びとは、文部科学省が掲げた目指すべき次世代の学校の学びのスタイル。一人ひとりの生徒が、理解状況や能力・適性に合わせた、個別最適な学びを行うことにより、探究や課題研究など個々の興味や関心に応じた活動がしやすく、進路に合わせた科目選択もできる。単位制高校は自分の学びを自分でデザインするので、個別最適な学びを実現できる。

## 上伊那地域の中学校卒業予定者数の推移(見込)

出典: 2019年~2021年 それぞれ前年度の文科省学校基本調査速報値  
 2022年~2030年 文科省学校基本調査速報値(令和3年5月1日現在)  
 2031年~2036年 長野県人口異動調査(令和3年4月1日現在)

入学年度	高3	高2	高1	中3	中2	中1	小6	小5	小4	小3	小2	小1	年長	年中	年少	2歳	1歳	0歳
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
上伊那地域(旧8通)	1,823	1,728	1,704	1,764	1,731	1,642	1,729	1,579	1,623	1,521	1,535	1,553	1,420	1,448	1,315	1,291	1,281	1,078
辰野	4	3	3															
箕輪進修	3	3	3															
上伊那農業	4	4	4															
高遠	3	3	3															
伊那北	6	6	6															
伊那弥生ヶ丘	6	5	5															
赤穂	5	5	5															
駒ヶ根工業	3	3	3															
募集学級数 計	34	32	32															
全日制	普通科	20	18	18														
	専門学科	10	10	10														
	総合学科	0	0	0														
	特色学科	1	1	1														
多部制	普通科	3	3	3														

2021年から2030年で生徒数が151人減少

3~4学級減を予想

## 新校の募集定員の想定について

